

笑顔の傘 開いた

平和公園に世界の子どもたち



原爆死没者慰霊碑前で掲げられた、子どもたちの笑顔の傘（広島市中区で）

世界各国の子どもたちの笑顔をプリントした傘をさして、平和を訴える「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が1日、広島市中区の平和記念公園で行われた。

世界各国の子どもたちの「メリー・アンブレラ・プロジェクト」が企画した。水谷さんは約10年前から、「社会を良くするため、子どもたちの笑顔を広げたい」と、地震や津波の被害を受けた中国・四川省、インドネシア・バンダアチエなど26か国を巡り、約4万人の子どもの写真を撮影。大阪や上海などで同様の催しを行ってきた。この日は大学生ら約150人が参加。原爆死没者慰霊碑で黙とうした後、約120本の傘を、慰霊碑や原爆ドームの前などで一斉に開いた。水谷さんは「原爆投下という絶望を味わった広島から、世界に平和を信じよう」と参加者と呼ばれた。